８月１２日（火）　　羅臼岳　　　　　　　快晴

〇今日は　念願の羅臼岳に登った。今夜も泊まりは道の駅「うとろ・シリエトク」

・今日は念願の羅臼岳､興奮して目が冴える。３時半にはもう起床。空には薄い雲。歯を磨いてからウォッシュレットに腰掛ける（今や道の駅のトイレはウォッシュレットになっています)。このところ便秘気味、頑張って一本出す。４時過ぎに駅を出て 4:40 岩尾別温泉「ホテル地のはて」駐車場着。登山者用駐車場はもう満杯、ちょうど一台分のスペースがあったので無事駐車した（ラッキー)。　若い？カップルが出かけていった。

羅臼岳登山口

・4:55 スタート、長い登りが始まる。前後に３パーティー、抜きつ抜かれつで大沢入口まで登る。大沢に入ると花が急に多くなり写真を撮るのが忙しい、私のペースはぐっと遅くなり、みんな前へ行ってしまった。

羅臼平から仰ぐ羅臼岳

・羅臼平の眺めはすばらしい！　快晴の青空に羅臼岳の雄姿が浮かんでいる。ここまでは北海道では珍しい林間コースだったが、ここからは一変して山頂まで標高差約 300 mの岩場の登りとなる。真夏の日差しがじりじりと暑く、オーバーペースもあって息がはずんで苦しい。ペースダウンして岩場の直登にいどむ。

・無事山頂に到達！　　現在 9:30。

余り広くない岩場の山頂は結構込み合っていて休むスペースをやっと見つける。山頂からの 360 度の眺めを心ゆくまで楽しんだ。硫黄岳への縦走路が延々と見え､その先遠方に硫黄岳が聳えて見える。足下にはオホーツク海が広がり､目を転ずれば昨年登った斜里岳が間近に見える。 ただ国後島やロシヤ方面は厚い雲海が立ちこめていて見せてもらえなかった。

羅臼岳山頂から硫黄岳方面

山頂にはチョコスナックを食べながら３０分位滞在し、後から登ってくる人たちに場所を譲って下山をはじめた。

・岩場の下りは鬼門だ！　足を引っかけもんどり打って転倒､幸いにも頭は打たなかったが､溶岩の角で右手の手のひらの皮が剥がれた。鮮血がしたたり落ちている｡熊が血の臭いを嗅いで来るのではないかと思うほど｡どうしようもないので血を垂らしながら下山を続けたが、そのうち血が乾いて止まってきた。５本の指が糊付けされたように乾いた血で固まっている｡幸いにも岩清水に水が流れていたのでとりあえず固まった血を洗い流して５本の指を解放し、羅臼平まで下る｡羅臼平でゆっくりと治療を始めるが､なんとティッシュペーパーがどこにもない！　仕方なくタオルハンカチに水を含ませて丁寧に血をふき取ってゆく｡出血の割には傷はそれほど大きくなく、もう完全に止まっている。よかった！　安心してゆっくりと昼食を取った。周りを見るとメアカンフスマが咲いていてホットして心が休まった。目の前に今下りてきた羅臼の岩山が「甘く見るなよ！」と言わんばかりに聳えている。以前高松山の下りで滑って手を付き同じように手のひらを怪我した経験がある。下りでは必ず手袋を着用すべきと肝に銘じた。

・花もあまり無いのでカメラをザックにしまい下りを急ぐ。途中羅臼の雄姿が見えると名残惜しさにカメラを出して撮影しながら 13 時半に木下小屋に到着した｡地の果てホテルで入浴し汗を流して疲れを癒す。手の傷はもう心配ないくらいに快復している。なかなか良い風呂で、露天風呂が３段になっているのがすばらしい。さっぱりして今日も泊まる予定の道の駅「うとろ・シリエトク」へと向かう。

・途中セイコーマートでビールとつまみを買い込み昨夜と同じ場所に駐車した。左隣は埼玉ナンバーのアルファードで、春日部から一人で釣りに来ているというおじさん。遡上のため河口に集まる鮭を狙ってもう一週間以上もここに泊まっているが鮭はまだ釣れていない。９月中旬に奥様が合流するそうで、それまで頑張るそうだ。右隣は名古屋ナンバーの軽ワゴンに老夫婦二人連れ。大変慇懃な方で恐れ入る。名古屋は藤が丘にお住まい、万博は自転車で通ったとのこと。釣りをしたり遊覧したりで１０月ぐらいまで北海道をほっつき回るそうだ。

キャンピングカーが勢揃いの道の駅

・この駅はすごい！　キャンピングカーが勢揃い、私のような改造車やそのままの乗用車など夜を過ごす車を含め 100 台近くがずらっと並んでいる。私のように通りすがりの車もあれば、両隣のように釣りなどして滞在している車も多い。キャンピングカーは殆どが滞在型だ。

・駅の売店で清酒「幻氷」を買い、今日の羅臼岳の記録・写真の整理をしてから、キンピラゴボウにフキと薩摩揚げの煮物それに豚串焼きで乾杯。主食は野菜具沢山のカレーうどん。今 6 時 13 分　寒いくらい涼しい。7 時には床に入りすばらしかった今日の羅臼の夢を見ながらおやすみ。

８月１３日（水）　　周遊（ウトロ　～　羅臼　～　小清水）　　　　曇

○今日は　知床二湖、知床峠、を回って　小清水キャンプ場に泊まった。

・あさ４時起床すると隣の埼玉ナンバーの車がいない、名古屋の老夫婦はまだ就寝中。空は薄曇りながらかなり明るい。昨日山で残した梅のおにぎりと具沢山のみそ汁で朝食を摂っていると埼玉のおじさんが戻ってきて昨日と同じく私の左隣に駐車した。場所を決めているようでまさに滞在している。

・「鮭が釣れたぞ！　いらないかい？」なんと念願の鮭を３匹も釣り上げてきた。すでに現場で３枚におろしてきてあり、真っ赤で実に旨そうな中型の鮭の半身がクーラーの中に入っている。得意満面の顔のおじさんに断るのも悪いので片身一枚をいただいた。

鮭の半身をいただいた

いただいたはいいけれど、調理道具など一切持ち合わせていない、さてどうしたものか。おじさんは念願を果たしたので、あとはゆっくり、釣りをしたり温泉を回ったりすると満足そうな顔をしていた。

・今日は天気も良くないし予定もないのでのんびり朝支度をして、埼玉のおじさんと名古屋の老夫婦にお別れして、２泊した道の駅「うとろ・シリエトク」を８時過ぎに後にした。まず鮭が腐らないようにセイコーマートで氷を購入。小さいクーラーに押し込む。

さてこれからどこへ行こうか、とにかく世界遺産の「知床五湖」へでも行ってみようかと、知床へ向かう。９時前というのに駐車場ほぼ満車に近いほど。駐車料金 410 円払って車を止める。

・ヒグマが出没するので五湖のうち前の二湖だけ遊歩できて奥の三湖は進入禁止となっている。ようするに知床二湖である。団体バスがつぎつぎやってきてゾロゾロ観光客であふれている。やはり世界遺産になるとだめだね！　特に韓国人・中国人がいっぱいだ。

・知床自然センターに寄ってフレペの滝へ歩く。キオンの黄色い花が一面に咲き人も少ない静かな散策路が続く。 振り返れば昨日登った羅臼岳から硫黄岳への山並みが望まれる。 断崖を白糸のようにオホーツク海へ流れ落ちるフレペの滝もなかなか良い。約一時間の散策を終えセンターの食堂で６５０円の月見そばで昼食とする。

フレペの滝

・まだ昼前なので十分時間がある。知床峠から羅臼町へ回ってみよう。知床峠へ登ると濃霧と霧雨で一面真っ白、何も見えない。 気温は 12℃で寒くて居られない。昨日の快晴はどこへやら、昨年の知床峠も同じく霧で寒かったのを思い出す。羅臼町へ下ると雨は上がり、道の駅「知床・らうす」で一休み。駐車場はさほど広くないのだが、車とバイクで満杯、やっとの事で駐車スペースを見つけた。もちろん駅の売店も人でごった返していた。

・道の駅「しゃり」は新しくできた駅で、インターネットの設備があるというので標津へ南下してから北上して斜里に向かった。標津への道は霧と雨の中だったが、標津から斜里への道は雨も上がり快適なドライブだった。なにしろ 10 数 km もの直線の舗装道路で、前後を見ても走っている車が一台もない状態が続く。期待した道の駅「しゃり」は斜里の町の中にあり、新しくて近代的な建物だが小さくて売店・レストランなどの設備はない、駐車場も狭くてとても泊まれる駅ではない。パソコンも無線インターネット利用

道の駅「はなやか小清水」

なので繋げられず断念。今日の宿泊を小清水にする事にした。

・斜里は結構大きな町で、郊外にスーパーやホームセンターが集まった所がある。とにかく鮭を料理して食べなければならない。まずキャンドゥーで焼き網とアルミホイルを購入、ホームセンターで食卓を、スーパーでちゃんちゃん焼き用の食材を購入し、小清水へ向かった。道の駅「はなやか小清水」では産地直売店があり、斜里のスーパーよりよっぽど新鮮で安い食材が調達出来ることがわかった。斜里で買ってきてばかみた。

・駐車場はでかいし、売店もあり便利なので今夜はここに泊まることにしたが、炊事用の水がトイレにしかないので困った。ちゃんちゃん焼きをどこでやろうかと考えながら、まだ時間も早いので、裏にある展望台に登ってみた。そばに「小清水キャンプ場」があり 300 円で泊まれる、しっかりと炊事用の施設が整っている。早速宿泊をキャンプ場に移動。高台の草原なので風が強く、蚊が多くて参ったが、車の陰で何とかちゃんちゃん焼きを無事完成。

・ウトロで鮭をもらったばかりに材料や道具で出費が嵩み、場所の選択などに随分苦労をさせられた。その鮭もまだ 2／3 も残っている。

キャンプ場から見下ろす道の駅

・蚊取り線香をたっぷり炊いて８時前に就寝。熟睡した。

８月１４日（木）　　周遊（小清水　～　藻琴山　～　札弦）　　晴

○今日は　藻琴山に行ってから網走あたりをぐるぐる周り、道の駅「パパスランドさっつる」（札弦）に泊まった。

・今日は天気が崩れるという。停滞日としてこの辺を回ることにした。

・朝４時に起床、風が強いが天気はまあまあで薄日も差している。昨夜ブンブン飛んでいたあの蚊は、蚊取り線香のおかげで被害を免れ安眠出来た。
洗濯場や炊事場のあるキャンプ場、まず洗濯から始める。下着一揃え、短パン２本、チョッキ、Ｔシャツに靴下２足、洗剤に浸し手洗い。車と垣根の柱とにロープを渡し吊して干す。風が強いので乾くのが早いだろう。食事をしながら日記を

書いたり、諸整理をしたり、今日の行動予定を検討する。近くに藻琴山があるので、とりあえず藻琴山へ行ってみようと決めた。

・９時前にキャンプ場を出て小清水の町を通過、ここで鮭の焼き網を買おうかと思ったがまだ１０時前なので店は開いていない。藻琴山に向かって南下してゆくとだんだん天候が悪くなり藻琴山は雲の中。登山口の公園は濃い霧の中で風も強く寒くてとても居られない。駐車場には観光客の車はなくレストハウスだけが霧の中で寂しく明かりをともしている。とりあえず網走へ戻ることにした。

藻琴山登山口の公園

・下るに従って雲の中から抜け出し網走では薄日が差していた。スーパーやダイソーや靴屋などが集まっているショッピングセンターを見つけ、まず鮭を焼く網と炒めるためのフライパンを購入、ティッシュが付くとの宣伝にのせられてビールを１ケース（２４本）購入。ちょうど１２時なのでＣｏＣｏ一番館で野菜カレーの昼食、隣にあったユニクロで長袖シャツを購入した。

・今朝出発した道の駅「はなやか小清水」や「小清水原生花園」で遊びながら、今朝通った同じ道をまた清里方面へ東へ向かう。この数日間でこの道を何回走ったことか！

途中オホーツク海の看板とトーテムポールの立つ浜辺へ寄った。１０年以上前に朋子と恵子と３人でバスツアーできて記念写真を撮った懐かしいところだ。その時乗ったブルーバスも止まっていたりして懐かしさ百倍だった。さらに今朝通った小清水の町をまた抜けて道の駅「パパスランドさっつる」に２時過ぎに到着した。

・雨の予報に反してここは晴天、斜里岳が眼前に聳え麓まですっきりよく見える。ただ風が強く寒いくらいに涼しい。ここには温泉がありシニアは 380 円ではいれる、とりあえず温泉で体を温め夕食に取りかかる。今夜も鮭のちゃんちゃん焼きだ。今日購入したフライパンにもやしと千切り野菜を入れ鮭を載せて、味噌ラーメンの素をかけて加熱、

それなりのちゃんちゃん焼きが完成した。結構いける Good！

自己流ちゃんちゃん焼き

・右隣は八王子から軽自動車で来ているおじさん。一ヶ月の休暇を取って本州を陸路北上してここへ来たという。左隣はハイエースを改造したキャンピングカーで徳島から来たご夫婦で、甲浦あたりのこともよく知っていた。　北海道の道の駅回りを５年間も続けている、今年も全駅制覇をめざすと張り切っている（子供っぽい！)、奥様はあきれてついてきているとのこと、いろんな人が北海道をいろんな形で楽しんでいる。

・今日も殆ど歩くことなく、車に乗って、食べてばかり、体に良くないね。
今日は同じ所をくるくる回り、同じ道を２回も走った。　　　７時過ぎに就寝。

道の駅「パパスランドさっつる」